

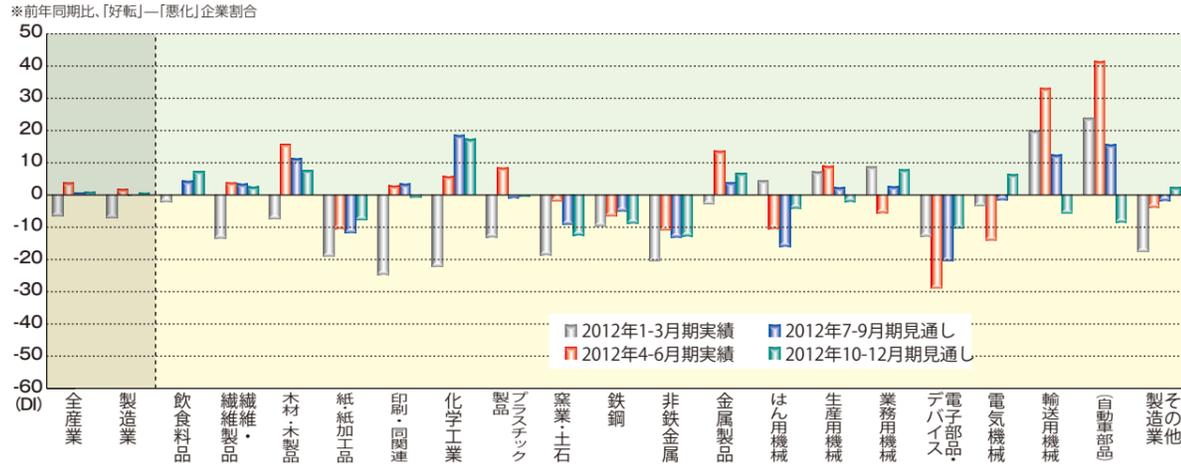
データで見る中小企業の動き 全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

2012年4-6月期実績、7-9月期及び10-12月期見通し

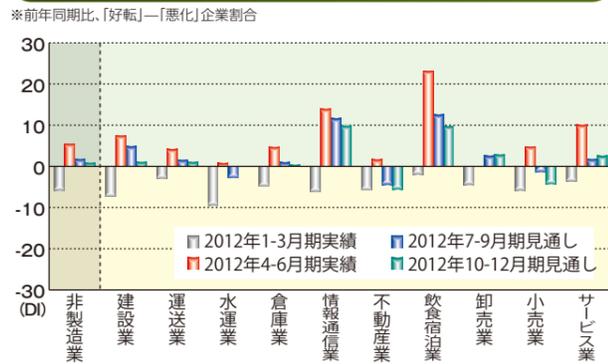
①-2 業種別業況判断

製造業：内需関連の業種を中心に上昇
非製造業：すべての業種で上昇

製造業 業種別業況判断 DI の推移<季節調整値>



非製造業 業種別業況判断 DI の推移<季節調整値>



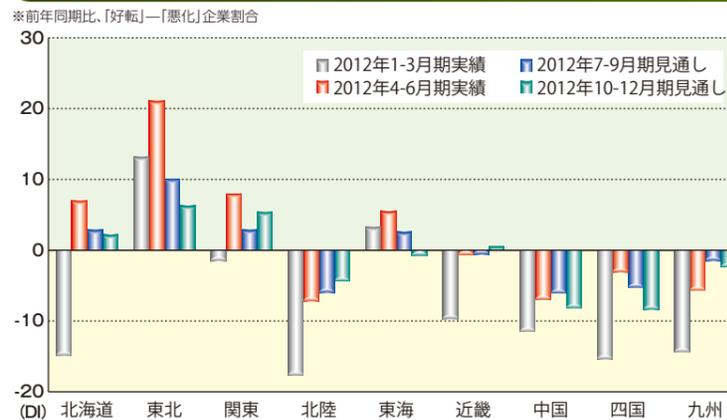
- **製造業**
製造業は、繊維・繊維製品や木材・木製品などで上昇したものの、電子部品・デバイスやはん用機械、電気機械などは低下した。
- **非製造業**
非製造業は、すべての業種で上昇した。なかでも、建設業や飲食宿泊業などで大幅に上昇した。

①-3 地域別業況判断

すべての地域で上昇

業況判断 DI を地域別にみると、今期はすべての地域で上昇した。東北や東海ではプラス水準が続いている。先行きについては、北海道や東北、関東などでプラス水準が続く見通しとなっている。

地域別業況判断 DI の推移<季節調整値>



『中小企業の景況は、持ち直しているが、先行きは一部に弱い動きがみられる』

日本政策金融公庫総合研究所は7月23日、「全国中小企業動向調査結果(2012年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)」を発表した。



今回調査のポイント

- ① **業況判断 DI** 4期連続で上昇したが、来期は低下する見通し。
- ② **売上 DI** 4期連続で上昇したが、来期は低下する見通し。
- ③ **価格関連 DI** 販売価格DIはマイナス幅がやや拡大し、仕入価格DIは低下した。
- ④ **純益率 DI** マイナス幅が縮小したが、来期はマイナス幅がやや拡大する見通し。
- ⑤ **従業員 DI** 前期から上昇し、4期連続でプラス水準となった。
- ⑥ **設備投資実施企業割合** 2期連続で上昇した。

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA

- 調査時点：2012年6月中・下旬
- 調査対象：当公庫中小企業事業取引先13,489社
- 有効回答企業数：7,736社 (回答率57.4%)

①-1 業況判断

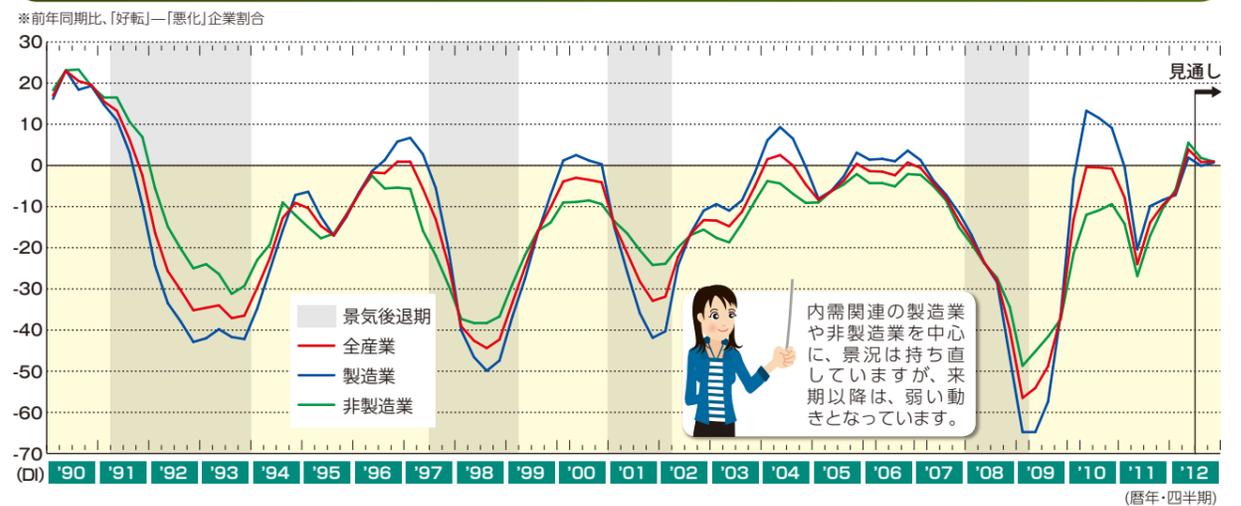
大幅に上昇

▲6.6 ▷ 3.9



- **現状** 業況判断DI(前年同期比、「好転」―「悪化」企業割合)は3.9と、前期(2012年1-3月期)から10.5ポイント上昇した。
- **見通し** 先行きについては、今期から3.1ポイント低下する見通しとなっている。

業況判断 DI の推移<季節調整値>



全国中小企業動向調査（中小企業編）について

当調査は、中小企業の景気動向等を把握するために、当公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以來3ヵ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野において我が国を代表するビジネスサーベイの1つとして、関係各位から高い評価を得ています。

④ 利益

マイナス幅が縮小

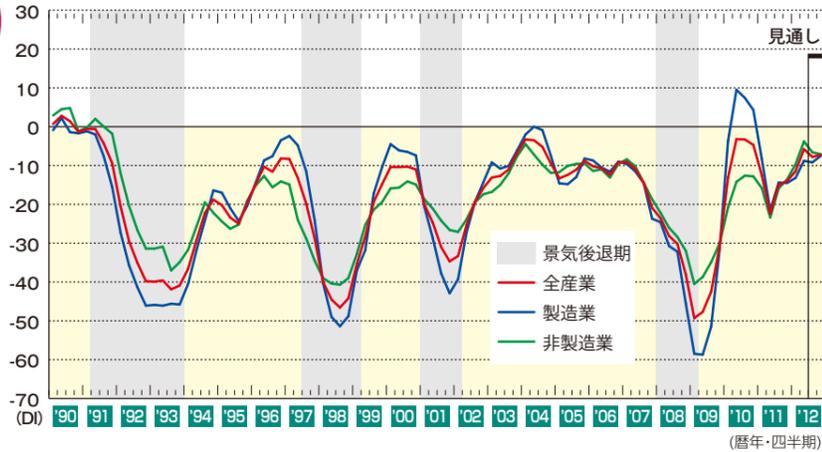
▲11.5 ▷ ▲5.8



純益率DI(前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合)は▲5.8と、前期から5.7ポイント上昇した。来期は、マイナス幅がやや拡大する見通しとなっている。

純益率DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合



② 売上

4期連続で上昇

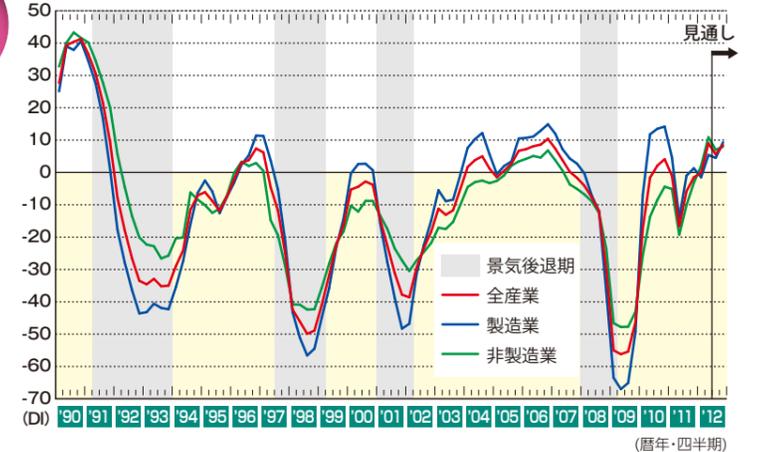
▲0.1 ▷ 9.0



売上DI(前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)は9.0と、前期から9.1ポイント上昇した。来期(2012年7-9月期)は3.4ポイント低下する見通しとなっている。

売上DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「増加」-「減少」企業割合



⑤ 雇用

4期連続でプラス水準

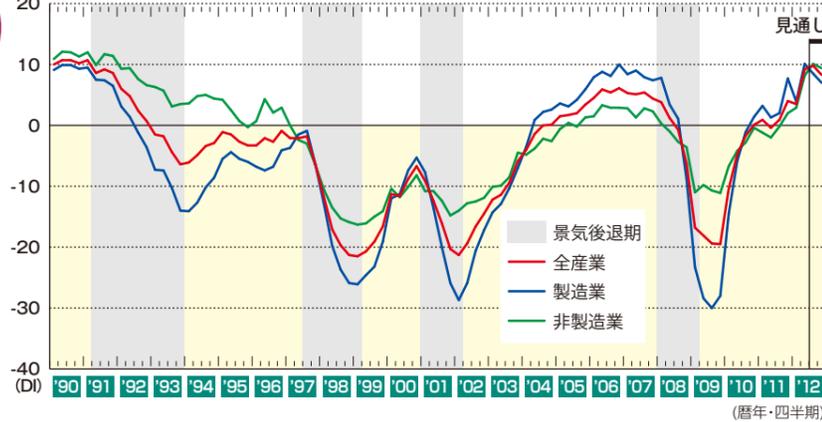
3.5 ▷ 9.2



従業員DI(前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)は9.2と、4期連続でプラス水準となった。

従業員DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「増加」-「減少」企業割合



③-1 販売価格

マイナス幅がやや拡大

▲13.5 ▷ ▲15.1



販売価格DI(前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合)は、2期ぶりにマイナス幅が拡大している。

③-2 仕入価格

4期連続で低下

28.8 ▷ 24.5



仕入価格DI(前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合)は、前期から4.3ポイント低下した。先行きも低下する見通しとなっている。

⑥ 設備投資実施企業割合

2期連続で上昇

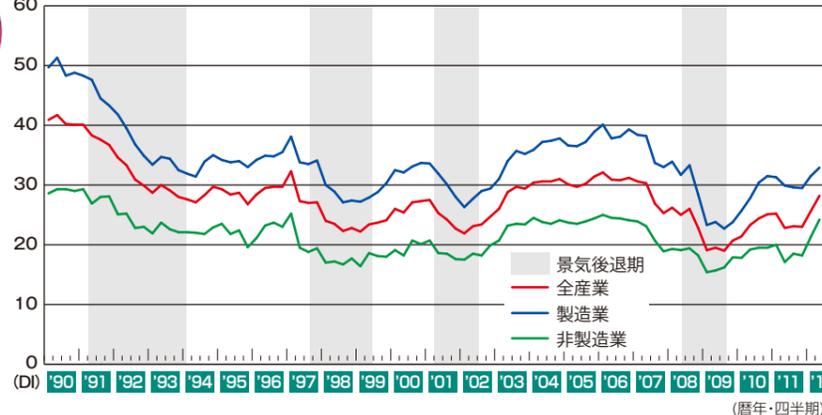
25.6 ▷ 28.2



設備投資実施企業割合は28.2%となり、2期連続で上昇した。

設備投資実施企業割合の推移<季節調整値>

※実施企業割合、%



価格関連DIの推移<原数値>

※前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合

